

令和6(2024)年度 寄附受入状況と活動報告



宇都宮大学3C 基金

宇大スピリット3C精神（Challenge、Change、Contribution）を冠した本基金は、皆様から多くのご支援をいただき、広く社会で活躍しうる人材の育成にむけて、奨学金の給付、教育研究活動、地域への貢献活動、キャンパス環境の整備等の支援に活用させていただいております。

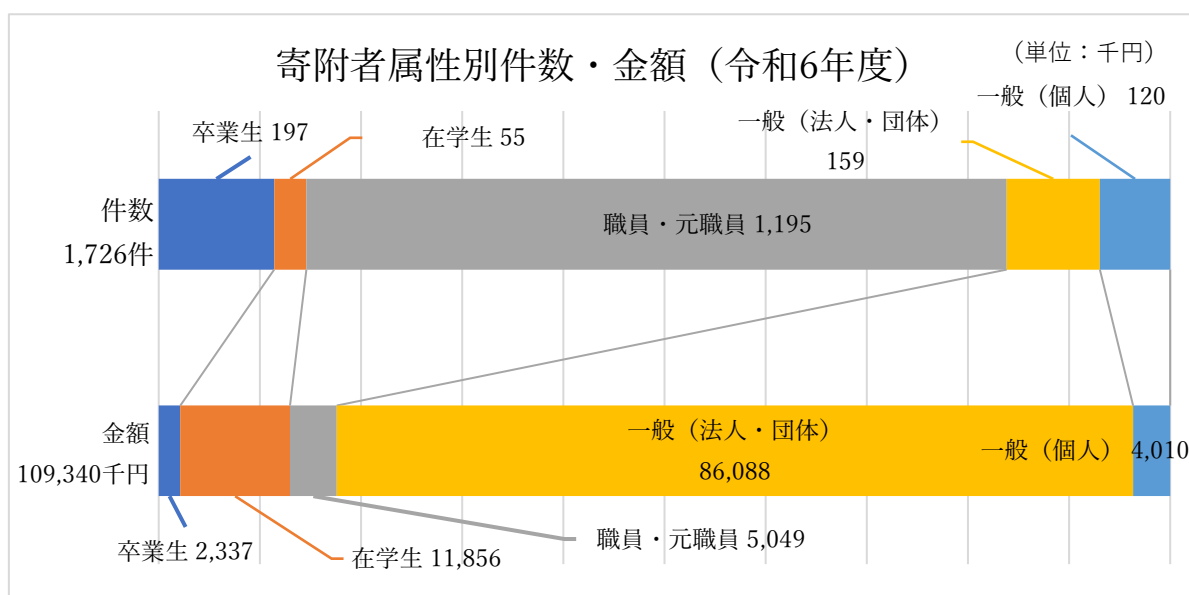
本基金の趣旨に対し、深いご理解とご協力を賜わり、多大なるご寄附を頂戴した皆様には厚く御礼申し上げますとともに、令和6年度の寄附受入状況と支援活動についてご報告いたします。

1. 寄附金の受入状況

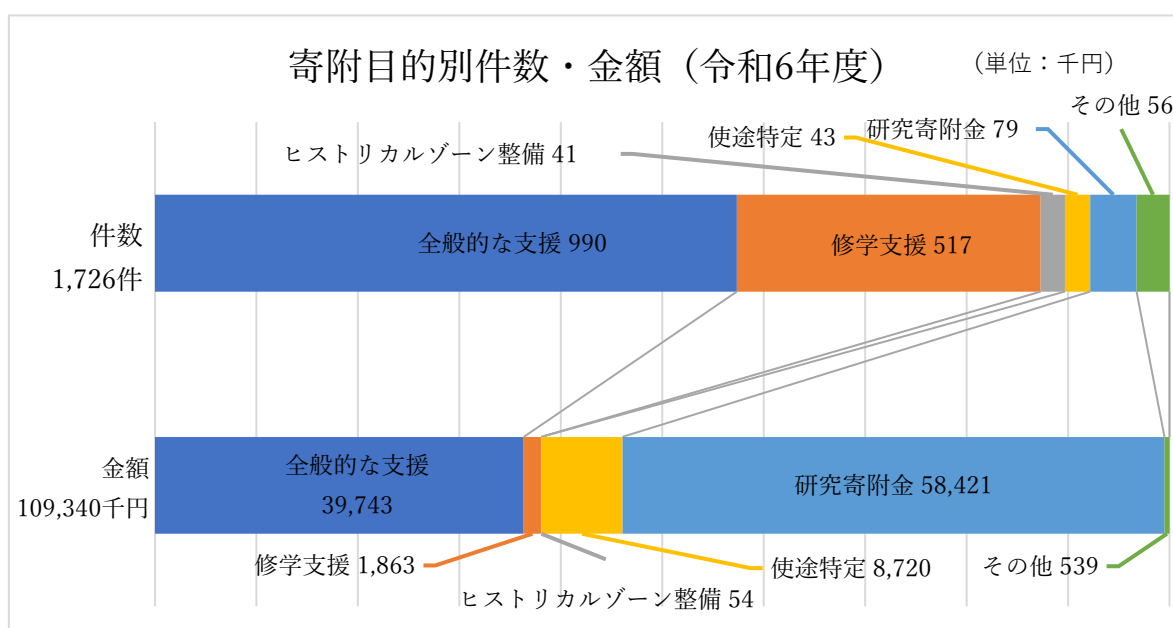
宇都宮大学3C基金が発足した平成29年度から令和6年度までに、卒業生、在学生、一般、職員（元職員）の方々から総額約13億4,113万円のご寄附を頂戴いたしました。

また、167名の個人の方々と32法人様が「宇大倶楽部」にご入会いただき、継続的なサポーターになっていただいております。

(1) 令和6年度受入れ実績

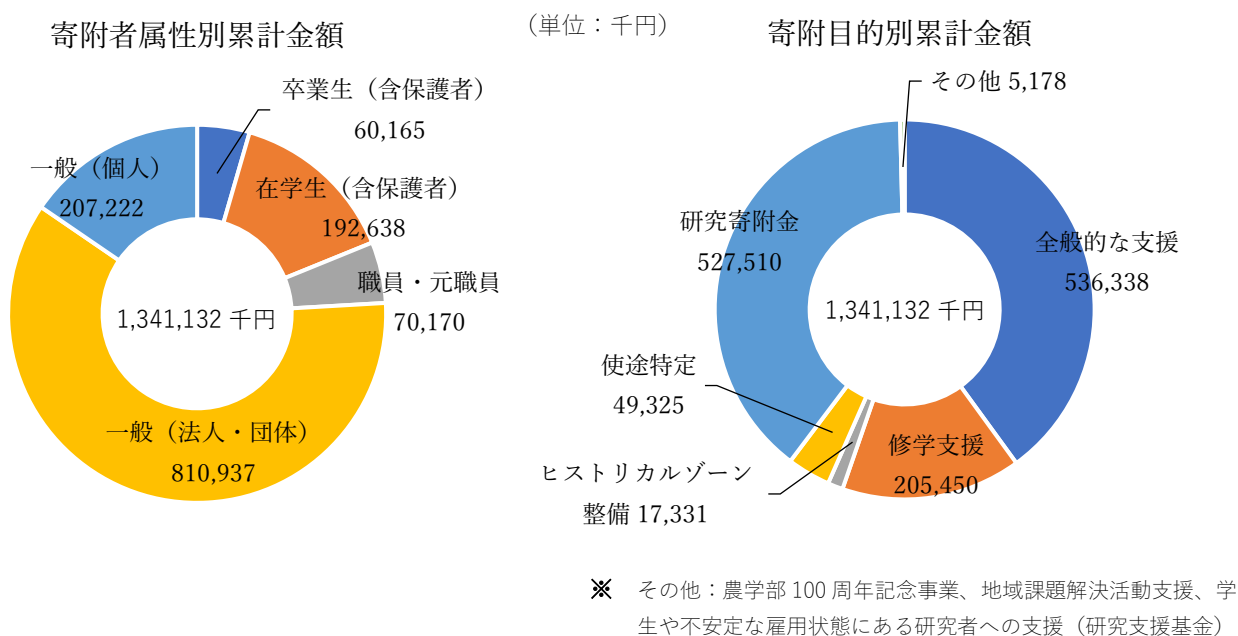


※卒業生及在学生には、保護者を含みます。



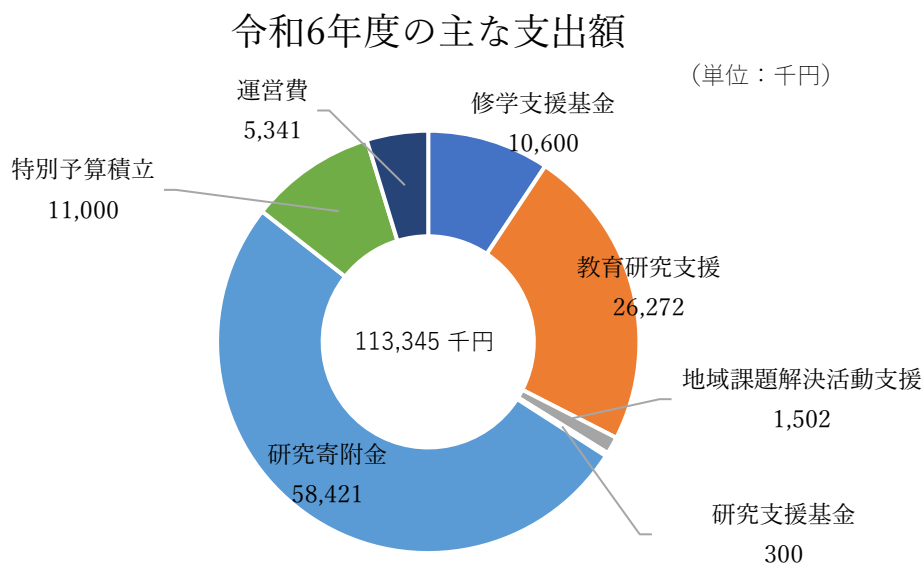
※ その他：地域課題解決活動支援、学生や不安定な雇用状態にある研究者への支援（研究支援基金）

(2) 平成 29 年度から令和 6 年度までの受入れ実績



2. 支援した事業

皆様から頂戴したご寄附は、以下の支援事業にて使用させていただきました。



(1) 修学支援基金事業

1) 飯村チャレンジ奨学金

光陽エンジニアリング株式会社様（代表取締役会長 飯村慎一様）からのご寄附を活用し、チャレンジ精神旺盛な学生を支援する奨学金です。

令和6年度は、15名の学生に対しそれぞれ48万円（月額4万円/12ヶ月）を給付しました。給付者については、ボランティア活動に積極的に参加することを条件に、チャレンジ精神旺盛で経済的な支援が必要と認められる学生を書類と面接によって選考しました。

令和7年3月には、ホテルニューイタヤ（宇都宮市）で最終報告会を行い、奨学生がボランティアや研究活動について発表しました。



最終発表報告会

2) 入学応援奨学金

宇都宮大学への入学を希望しながら、経済的理由により進学を断念することがないように栃木県内高校出身の学生10名に対し、入学時に必要となる学資の一部としてそれぞれ30万円を給付しました。

なお、選考は令和5年度中に実施し、入学後の令和6年4月に給付しました。

3) 関スポーツ奨学金

関雅樹様からのご寄附を活用し、課外活動団体（体育系で各種競技大会に出場している任意団体）に所属し、積極的にスポーツ活動に参加し、スポーツと活動と学業の両立のため、経済的に支援が必要と認められる学生に対して給付する奨学金です。

令和6年度は、4名の学生に対しそれぞれ10万円を給付しました。

(2) 教育研究支援事業

1) 増山奨学金—外国人留学生支援奨学金—

増山律子様からのご寄附を活用し、学士課程及び大学院博士前期課程に在籍する学生のうち、学業成績及び人物が優秀で、かつ留学時の生活のための経済的支援を必要とする私費外国人留学生を支援する奨学金です。

令和6年度は、8名（前期5名、後期3名）の外国人留学生に対しそれぞれ10万円を給付しました。

2) 増山奨学金—海外留学支援奨学金—

増山律子様からのご寄附を活用し、海外の大学等とのダブルティグリープログラムに参加するために、又は概ね世界大学ランキング200位以内の世界トップクラスの大学等へ留学するために、経済的支援が必要な大学院生へ給付する奨学金です。月額10万円から20万円以内の範囲の奨学金を、1か月以上12か月以内の期間支給します。

令和6年度は、条件を満たす者がいなかったため支給はありませんでした。

3) 斎藤裕奨学金

斎藤裕様からのご寄附を活用し、先進的な研究開発に意欲がある理工系の学士課程4年生と大学院修士課程及び博士前期課程に在籍する学生に給付する奨学金です。

令和6年度は、5名の学生に対し総額200万円を給付しました。

4) 宇大ラーニングサポーター

宇大ラーニングサポーターは、学生生活のことや履修登録、レポートの書き方など学生の多岐にわたる疑問や悩みに学生目線で相談に乗る活動を行っています。新入生相談会やおすすめ授業紹介、ゼミ・研究室紹介などのイベントを開催し多くの参加者を集めています。

宇都宮大学学生後援会様からのご寄附を主な原資として、のべ38名（前期16名、後期22名）の宇大ラーニングサポーターに対し、総額215万円の謝金を支給しました。



履修相談会

5) 3C留学奨励金

海外派遣プログラムに参加する学生に、諸経費等を支援するものです。

令和6年度は、オーストラリア、マルタ、マレーシア、フィリピン等における海外語学研修等に参加した48名の学生に対し総額242万円の支援を行いました。



オーストラリア英語研修修了式

6) 大学院生研究奨励金（研究グラント）

フィールドワークや各種調査等に主体的・意欲的に取り組む大学院生に対して支援するものです。

令和6年度は、電気工学、化学、生物学等を研究する6名の学生に対し総額100万円の支援を行いました。

7) 斎藤裕研究助成金

斎藤裕様からのご寄附を活用し、先進的な理工系の研究者支援のため、若手教員へ助成を行うものです。

令和6年度は、アメリカのパデュー大学へ研究留学した教員1名に対し、総額200万円を助成しました。

8) 教育設備の充実

基盤教育英語科目（EPUU）における学習内容の充実を図るため、株式会社TKC様のご寄附を活用し、CALL教室の保守等に49万円を支出しました。

9) 学生支援

学生後援会様からのご寄附や課外活動団体支援イベントへの参加による獲得寄附等を原資に様々な支援を行い、総額469万円を支出しました。

- ・ 課外活動奨励；支援イベント Giving Campaign へ参加した23団体へ112万円
- ・ 課外活動設備更新：貸出用テント、雷鳴寮メールボックス、課外活動共用施設コモンルーム空調設備等 357万円

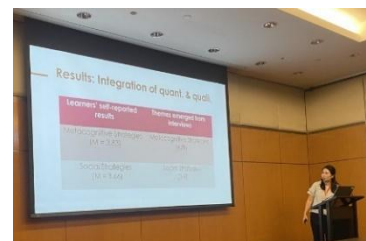


課外活動共用施設の空調設備

10) 女性研究者海外派遣助成

女性研究者が海外の研究機関・教育機関において研究を行い、高度な研究力、国際性及びリーダーシップ力を身につけることを支援するものです。

令和6年度は、7名に対し総額200万円を支援しました。



国際学会会議での発表

11) 部局等使途特定支援

部局の活動やプロジェクト支援等寄附先や使途を指定して支援できる仕組みで、令和6年度は、学部、センター、課外活動クラブ等宛に872万円を受け入れ、それぞれの活動に積極活用されました。

(3) 地域課題解決活動支援事業

1) 地域課題解決活動支援

峰が丘地域貢献ファンドの運用益を活用し、地域に貢献する学生の活動を支援するものです。

令和6年度は、里山の景観を整備して、環境学習の場とすることを目標にした活動に対し、7万円の支援を行いました。



大木須地区でのピオトップ整備

2) 3C キッズカレッジ

次世代育成事業として、理科実験体験やものづくり教室など、子ども向け体験活動講座・教室活動を支援するものです。

令和6年度は、13件の事業に対して総額143万円の支援を行いました。



アイデアカーフェスタ 2024

(4) 研究支援基金事業（ポスドク研究奨励金）

イノベーション支援センターで採用した非常勤研究員（ポスドク）の研究活動を支援するものです。令和6年度に採用された2名に対して、総額30万円の支援を行いました。

(5) 特別事業予算

1) キャンパス環境整備

建物改修や備品導入等環境整備の積立てのために 400 万円を特別予算へ振り替えました。

令和 6 年度はこの特別予算から、ウォータースタンドリース料に 216 万円、陽東キャンパス情報通信基盤センターのトイレ改修工事 170 万円を支出しました。

2) ヒストリカルゾーン整備

ヒストリカルゾーンは、6 つの施設（峰ヶ丘講堂＝登録有形文化財、石蔵、UU プラザ、フランス式庭園＝登録記念物、イギリス式庭園、日本式庭園）により構成されています。これらの施設を誰もがより活用しやすくすることを重視し、それぞれの長所を更に魅力的なものへ、短所は長所に転換する改善を施し、安全・安心で明るく彩り豊かな場所として整備するために特別予算を組んで積み立てており、700 万円を振り替えました。

令和 6 年度は、以下の整備のために 1,200 万円を支出しました。

- ・ イギリス式庭園下草植栽等 107 万円
- ・ 峰ヶ丘講堂周辺樹木新植・芝張・園路設置 839 万円
- ・ 峰ヶ丘講堂屋外ベンチ設置 151 万円
- ・ 石蔵 A 棟耐震改修設計 103 万円



新たに設置した峰ヶ丘講堂園路と屋体ベンチ

(6) 研究寄附金

学術研究に要する経費など、教育研究の奨励などを目的に寄附者から指定された教員等へ合わせて 5,842 万円を受け入れ、当該教員の学術研究及び教育活動等に使用されました。

(7) 基金運営費

銘板やサポーターパネルの更新、返礼品、寄附特典等寄附者の方々への対応費用として 269 万円を支出しました。

また、人件費、基金管理システム改修費、リーフレット作成等 3 C 基金運営の事務費用として 265 万円を支出しました。

3. 今後の計画

令和 7 年度は、引き続き学生の学びの継続や充実した学生生活のために多角的な支援体制を強化するとともに、地域社会への貢献や研究活動への支援を行って参ります。

また、様々な受入と支援の方策やそれに付随した大学認知度の拡大を図っていきたいと考えております。

引き続き、宇都宮大学 3 C 基金の精神に則り、さらなる教育研究活動の充実を図れるよう支援事業の拡充に取り組んで参ります。今後とも、宇都宮大学 3 C 基金に対する変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

宇都宮大学 3 C 基金事務局

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350

tel: 028-649-8177

e-mail: kikin@a.utsunomiya-u.ac.jp



3 C 基金ロゴマーク

峰ヶ丘講堂玄関の飾り窓をモチーフとし、フクロウの形に「3Cfund」の文字を入れています。

栃木県の方言で、フクロウをホロスケと言うことから、「ほろ＝少し」と「助っ人」を組み合わせ、様々な活動に少しずつ支援を行う基金という意味を込めています。